

講習名	【選択】美術館常設展示作品を図画工作科の鑑賞指導に生かす				
開設日時	11月11日(土)	担当講師	隅 敦		
会場	富山県美術館	募集人数	45人	時間数	6時間
認定対象職種	教諭	主な受講対象者	幼稚園、小学校、中学校・高等学校(美術)教諭		
受講料	6,000円	受講料以外の経費	なし		
<b>講習の概要</b> 富山県美術館において、常設展示作品を基に小学校高学年対象の図画工作科における鑑賞の授業についての研修を行う。鑑賞の授業をどのように組み立てていけばよいのか、海外の実践事例も紹介しながら、鑑賞の評価の方法についても理解することができるようにする。幼稚園教諭、中学校及び高等学校の美術科教諭にも参考になる内容である。					
<b>到達目標及びテーマ</b> 小学校における教員を対象に、図画工作科における鑑賞指導と評価の工夫改善の在り方を学ぶ内容である。特に美術科の免許を有しない小学校の学級担任に対し、美術館を積極的に活用し鑑賞教育の指導レベルを向上させることを目的としている。					
<b>講習の授業計画</b> 1. (10:00-11:00) 図画工作科の鑑賞の指導に関わる諸問題について(講義) 美術館活用のメリットについて(講義) 2. (11:10-12:40) 作品鑑賞を充実させるための指導とその評価について(講義と実技) ・常設展示作品を活用した題材の開発 3. (13:30-15:00) 作品鑑賞から表現へつなげる題材の指導と評価について(講義と実技) ・事例紹介と所蔵作品の鑑賞後の表現をつないでいく題材の開発 4. (15:10-16:40) まとめ:美術館を活用して鑑賞を行う意義と可能性について(講義) ・海外の学校における事例の紹介を交えながら 5. (16:40-17:10) 筆記試験					
テキスト	「図画工作」, 日本文教出版, 3・4下, 5・6上, 5・6下 各1冊(当日配付するため購入不要)				
参考資料等	なし				
修了認定(試験)の方法	講習の最後に筆記試験を行う。				
留意事項 (各自で準備するものなど)	・鉛筆(作品を見ながらのメモ用に用いる。シャープペンシルは美術館の所蔵作品を見る際には使用不可) ・フォルダー(作品を見ながらのメモを取る際に用紙を支えることのできるもの) ・上に羽織るもの(美術館の空調が冷えすぎている場合がある) ・会場の開館は、午前9時30分であり、それ以前には入館できないので、入り口付近で開場を待つこと * 美術館の常設展の入館料は受講料の中に含む。				
備考	前年度「C121【選択】美術館常設展示作品を図画工作科等の鑑賞指導に生かす」受講者(履修認定済)は受講不可				